

〔多識編^二隰草〕紅藍花久禮乃波奈又稱久禮乃阿比今案久禮奈比又稱倍仁乃波奈又按吳藍久禮阿伊是卽所謂紅字和訓也

〔八雲御抄^三上〕紅 するつむはなと云り すゑつむゆへ

〔藻鹽草^八草〕紅

末つむ花 むすゑを つまふりて たふりはへといふもたまふりてと云也紅はふり出て物を染也 はす紅うす紅ゆふ紅紅のちり 世間を紅の塵 紅のするさく花 たかまきし紅花から紅ちしほの紅 くらくのとませの まきをすくつなぬ とするつみはやす紅

〔東雅草^{十五}卉〕紅藍クレノアキ 倭名鈔に辨色立成を引て紅藍吳藍並にクレノアキといふ本朝式

には紅花の字を用ゆ俗亦用之と註せりクレとは卽吳也アキは卽藍也萬葉集に吳藍讀てクレナキといふは其語の轉せしなり但し漢に吳藍と云ひしものは莖の類にして紅藍をいふにはあらず此に吳藍といふは其始吳國より來りしが故也卽今俗にはベニノハナといふなり

〔和漢三才圖會^{九十四}本〕紅花 紅藍花 黃藍 俗云久禮奈伊吳藍之略言 略 中

按紅花俗傳云申日下種能茂盛羽州最上及山形之產爲良伊賀筑後次之豫州今治及攝播二州之產又次之最上紅餅大如錢西國紅餅圓徑三四寸許 略 下

〔重修本草綱目啓蒙^十隰草〕紅藍花 クレノアキ 和名 クレナキ スエツム ハナ 源氏 丹華 和方 丹華 書

ベニノハナ クレナキ ハナ 雲州 ハナ 仙臺 紅花 一名紅蘭 緋珠 紅花 菜 山丹花 未 丹花 未 丹花

開カザル者ヲ乾シ食用 ニスルヲモ紅花菜ト云

秋分ニ子ヲ下シ便チ生ズ葉ハ細長クシテ黃綠色長サ二寸或四五寸葉邊及中心ニ硬刺アリ春ニ至テ莖ヲ抽デ高サ三五尺ニ至ル其莖ニモ刺アリ葉ハ互生ス梢葉ハ枸骨葉ノ如シ夏月枝ノ末ゴトニ花ヲ生ズ椀ヲナシテ蒼朮苑椀ノ如ク刺多シ細瓣椀上ニ出テ薊花ノ形ニ似リ紅黃色